

## 第 46 期決算公告

札幌市中央区北 3 条西 2 丁目 1 番地  
株式会社 エイチ・ビー・シー・ビジョン

### 貸借対照表

(2019 年 3 月 31 日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>346,798</b>	<b>流動負債</b>	<b>359,728</b>
現金及び預金	116,182	買掛金	33,503
売掛金	48,635	短期借入金	240,000
前払費用	171,905	未払費用	19,226
未収消費税	9,741	未払法人税等	208
短期貸付金	170	その他	66,790
その他	440		
貸倒引当金	△277	<b>固定負債</b>	<b>575,004</b>
		社債	400,000
<b>固定資産</b>	<b>929,377</b>	長期借入金	125,000
<b>有形固定資産</b>	<b>812,203</b>	長期未払金	7,414
建物	664,646	預り保証金	39,338
構築物	2,518	役員退職慰労引当金	2,750
工具器具及び備品	1,541	繰延税金負債	501
土地	143,497	<b>負債合計</b>	<b>934,733</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>778</b>	<b>純資産の部</b>	
のれん	603	<b>株主資本</b>	<b>337,871</b>
その他	175	<b>資本金</b>	<b>65,250</b>
		<b>利益剰余金</b>	<b>281,658</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>116,394</b>	利益準備金	17,500
投資有価証券	15,476	その他の利益剰余金	264,158
関係会社株式	29,600	別途積立金	286,000
長期貸付金	235	設備拡張積立金	45,000
敷金保証金	46,988	繰越利益剰余金	△66,841
積立保険料	14,490	<b>自己株式</b>	<b>△9,037</b>
長期前払費用	9,604	<b>評価・換算差額等</b>	<b>3,570</b>
		その他有価証券評価差額金	3,570
		<b>純資産合計</b>	<b>341,442</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,276,175</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>1,276,175</b>

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## □重要な会計方針に関する注記

### 1. 有価証券の評価基準および評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式……………移動平均法による原価法

(2) その他有価証券……………時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し売却原価は移動平均法により算定)

……………時価のないもの

移動平均法による原価法

### 2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)……定率法。但し、1998年4月1日以降に取得した建物(付属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した構築物は定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)……定額法

(3) リース資産……………所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

### 3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金……………売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備える為、一般債権については法人税法の規定による法定繰入率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 役員退職慰労引当金……………役員退職慰労の支給に備えるため、当事業年度における要支給額を内規に基づき計上しております。

### 4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 繰延資産の処理方法

社債発行費……………支出時に全額費用として処理しております。

(2) 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しております。

(3) のれんの会計処理方法

5年間で均等償却しております。